

統合失調症ワーキンググループ

(令和2年度)

統合失調症ワーキンググループ報告書

広島県地域保健対策協議会 統合失調症ワーキンググループ

WG長 町野 彰彦

I. はじめに

本ワーキングでは、令和3年3月の第7次広島県保健医療計画（精神疾患対策）の中間見直しに向けて、県内の統合失調症等精神疾患に係る医療機関の現状を把握するため、県内の精神科医療機関を対象としたアンケート調査を行い、県連携拠点および地域連携拠点機能について検討したので、その結果を以下に報告する。

なお、アンケート調査の内容については、県連携拠点医療機関等に必要な機能と医療機関の選定基準の明確化を図るため、令和2年4月に改正された「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく良質かつ適切な精神障害者に対する医療の提供を確保するための指針」を踏まえ、治療抵抗性統合失調症に関する項目を組み入れて実施している。

II. 「統合失調症等精神医療アンケート調査」について

1 調査方法

(1) 対象と方法

令和2年7月1日現在で県内の精神科を標ぼうする医療機関（46医療機関）に郵送でアンケート調査票を送付し、FAXまたはメールで回収した（資料1）。

(2) 時期

令和2年9月28日～10月9日

(3) 内容

医療機関に対して、統合失調症等に関する拠点医療機関の希望の有無、治療抵抗性統合失調症の診療実施状況、県内地域における治療の普及や人材育成等の状況を選択肢および自由記述形式で答える形のアンケートを行った（資料2）。

なお、県連携拠点・地域連携拠点に必要な機能と医療機関の選定基準の明確化を図るため、次の内容を県連携拠点・地域連携拠点機能の条件とした。

- ア 治療抵抗性統合失調症の治療を積極的に実施していること
 - ・治療抵抗性を満たす症例数
- イ クロザピン治療の実績があること
 - ・クロザピン登録医療機関
 - ・クロザピン治療の症例数
- ウ 修正電気けいれん療法（mECT）治療の実績があること
 - ・修正電気けいれん療法（mECT）治療の症例数
- エ 治療抵抗性の統合失調症患者に心理社会的支援を実施していること
- オ 日本統合失調症学会の会員がいること
- カ 県内地域で、治療の普及や人材育成に貢献していること

2 結果

(1) 回収状況

回収率は85%で、39医療機関から回収できた（図1）。

送付	回収	回収率
46 機関	39 機関	85%

図1 回収状況

(2) 結果の概要

①拠点希望医療機関

39医療機関のうち、「治療抵抗性統合失調症の拠点医療機関になることを希望する」と回答した医療機関は7機関（18%）であった。

②診療実施状況

統合失調症精神医療の県連携拠点・地域連携拠点機能の条件を満たす医療機関を次のとおりとりまとめた（図2）。

治療抵抗性を満たす症例数が100例以上の医療機関は3機関あり、クロザピン登録医療機関は11機関であった。また、クロザピン治療の症例数が3例以

圏域	医療機関	治療抵抗性	クロザピン		mECT	心理社会的支援の実施機関	日本統合失調症学会の会員がいる医療機関	治療の普及や人材育成に貢献できる医療機関	拠点を希望している医療機関
		症例数(過去1か月)	登録医療機関	症例数(調査時点)	症例数(過去1年間)				
広島	草津病院	◎	○	○	○	○	○	○	○
	瀬野川病院	○	○		○	○		○	
	広島第一病院	○	○	○	○	○			
	広島大学病院	○	○						
呉	ほうゆう病院		○	○		○		○	○
	呉医療センター		○	○	○	○		○	
広島中央	賀茂精神医療センター	○	○	○		○		○	○
尾三	小泉病院	◎	○			○		○	○
	三原病院	○	○			○			○
福山・府中	光の丘病院	◎	○	○		○		○	○
	府中みくまり病院		○	○					

症例数…◎：100例以上，○：3例以上

図2 県連携拠点・地域連携拠点機能の条件を満たしている医療機関

上の医療機関は7機関、クロザピン登録医療機関のうち、修正型電気けいれん療法（mECT）の症例数が3例以上の医療機関は4機関であった。

クロザピン登録医療機関のうち、治療抵抗性の統合失調症患者に心理社会的支援を実施している医療機関は9機関、日本統合失調症学会の会員がいる医療機関は1機関、県内地域で治療の普及や人材育成に貢献できる医療機関は7機関であった。

Ⅲ. 統合失調症の県連携拠点および地域連携拠点機能を担う拠点機関の検討

平成30年度からの広島県第7次保健医療計画では、統合失調症の県連携拠点機能を有する医療機関は3機関、地域連携拠点機能を有する医療機関は5機関とし、県連携拠点機能と地域連携拠点機能を図3のように整理されている。

<p>■県連携拠点機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療連携の県拠点 ・情報収集発信の県拠点（普及・啓発） ・各精神疾患等に対応できる専門職員（医師、相談員等）の人材育成の県拠点 ・地域連携拠点機能支援 ・患者・家族支援及び当事者団体等との共同活動の県拠点 <p>■地域連携拠点機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療連携の地域拠点 ・情報収集発信の地域拠点（普及・啓発） ・地域精神科医療提供機能支援 ・患者・家族支援及び当事者団体等との共同活動の地域拠点

図3 県連携拠点機能および地域連携拠点機能

これらの拠点機能に加え、今回実施したアンケート調査を基に、統合失調症精神医療の県連携拠点・地域連携拠点機能の条件を満たしている医療機関について検討し、治療抵抗性の症例数、クロザピン治療の症例数、修正型電気けいれん療法（mECT）の

症例数が多いことや県内地域のバランスを考慮し、広島圏域、呉圏域、広島中央圏域、尾三圏域、福山・府中圏域からそれぞれ1医療機関を選定し、統合失調症の県連携拠点・地域連携拠点機能を担う拠点機関の選定案として、次のとおりとりまとめた。

統合失調症	
県連携拠点機関	草津病院 呉医療センター 賀茂精神医療センター 光の丘病院
地域連携拠点機関	ほうゆう病院 小泉病院 三原病院

Ⅳ. ま と め

本ワーキングでは、アンケート調査の結果を踏まえ、統合失調症に係る精神医療について、県連携拠点・地域連携拠点の見直しを行い、県内の地域の実情を反映させることができた。

協議の結果、拠点が無い地域との連携について意見があり、今後の課題として、拠点が無い地域と県連携拠点・地域連携拠点が連携した医療提供体制の仕組み作りを検討していく必要がある。

また、県連携拠点・地域連携拠点の協力のもと、より質の高い精神医療の提供および地域の実情を踏まえた地域連携体制を構築することが望まれる。

添 付 資 料

資料1 統合失調症等精神医療アンケート調査票の送付について（依頼文）

資料2 第7次保健医療計画中間見直しに関する統合失調症等精神医療アンケート調査票

令和2年9月28日

精神科系病院
施設長 様

広島県地域保健対策協議会
精神疾患専門委員会 委員長 岡本 泰昌
統合失調症ワーキンググループ WG長 町野 彰彦

統合失調症等精神医療アンケート調査票の送付について（ご依頼）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素から、本協議会の事業運営に種々ご理解とご協力を賜り深謝申し上げます。

さて、平成30年3月に広島県が策定した第7次保健医療計画では、多様な精神疾患ごとに、県連携拠点、地域連携拠点の機能を明確にすることが求められ、精神疾患共通の県連携拠点、地域連携拠点の機能を設定し、統合失調症に係る拠点機関として県連携拠点機能（3医療機関）、地域連携拠点機能（5医療機関）、うつ・自殺対策に係る拠点機関として県連携拠点機能（2医療機関）、地域連携拠点機能（2医療機関）が選定されているところです。

しかしながら、疾患ごとの県連携拠点、地域連携拠点機能の明確化及び医療機関が不足（地域偏在）する疾患の体制整備が課題となっているところであり、第7次保健医療計画の中間見直しにあたり、本県における統合失調症等の医療機関の状況を把握し、検討資料として活用するため、アンケート調査を行うことと致しました。

つきましては、貴機関におかれまして、趣旨をお含みいただき、別紙のアンケート調査票にご記入のうえ、FAXまたはメールにて **10月9日（金）まで**にご回答下さいますよう、ご依頼申し上げます。

業務ご多端の折、誠に恐れ入りますが、何卒御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

広島県地域保健対策協議会事務局
広島県医師会 地域医療課 秀島、沖本
〒730-0057 広島市東区二葉の里 3-2-3
TEL : 082-568-1511 / FAX : 082-568-2112
E-mail : chiiki@hiroshima.med.or.jp

広島県健康対策課 精神保健グループ 行
 FAX : 082-228-5256
 Mail : futaisaku@pref.hiroshima.lg.jp

医療機関名
 連絡先電話番号
 記入者

第7次保健医療計画中間見直しに関する統合失調症等 精神医療アンケート調査票

はい、いいえに○をつける等、記入をお願いします。

1 治療抵抗性統合失調症			
(1) 治療抵抗性統合失調症の拠点医療機関になることを希望されますか？		はい	いいえ
(2) 治療抵抗性を満たす症例(※)を過去1ヶ月におおよそ何例診察していますか？		おおよそ	例/月
<p>〔※治療抵抗性を満たす症例: 忍容性に問題がない限り、2種類以上の十分量の抗精神病薬(抗精神病薬(クロロプロマジン換算600mg/日以上)を十分な期間(4週間以上)投与しても反応がみられなかった患者、もしくは2種類以上の非定型抗精神病薬による単剤治療を試みたが、いずれかの理由により十分に増量できず、十分な治療効果が得られなかった患者〕</p>			
(3) クロザピンの登録医療機関ですか？		はい	いいえ
(4) 現時点でクロザピン治療を何例に行っていますか？		おおよそ	例
(5) この1年間に新たにクロザピンの治療を何例に開始しましたか？		おおよそ	例
(6) この1年間に修正型電気けいれん療法(mECT)を何例に行っていますか？		おおよそ	例
(7) 治療抵抗性の統合失調症患者に心理社会的支援を実施していますか？		はい	いいえ
(8) 日本統合失調症学会の会員がいますか？		はい	いいえ
(9) 県内地域で、治療の普及や人材育成に貢献できますか？		はい	いいえ
(10) その他(自由記載で特筆すべき点があれば記入下さい)	〔 〕		
2 治療抵抗性うつ病・躁うつ病			
(1) 治療抵抗性うつ病・躁うつ病の拠点医療機関となることを希望されますか？		はい	いいえ
「はい」の場合には以下の質問にお答え下さい。「いいえ」の場合には「3」におすすみください。			
(2) 治療抵抗性を満たす症例(※)を過去1ヶ月におおよそ何例診察していますか？		おおよそ	例/月
<p>〔※治療抵抗性を満たす症例: 忍容性に問題がない限り、2種類以上の抗うつ薬を十分な期間(6週間以上)投与しても反応がみられなかった患者、もしくは2種類以上の抗うつ薬による単剤治療を試みたが、いずれかの理由により十分に増量できず、十分な治療効果が得られなかった患者〕</p>			
(3) この1年間に修正型電気けいれん療法(mECT)を何例に行っていますか？		おおよそ	例
(4) 経頭蓋磁気刺激療法(rTMS)が実施できますか？		はい	いいえ
(5) この1年間に構造化された精神療法(認知行動療法、対人関係療法など)を何例に行っていますか？		おおよそ	例
(6) 厚生労働省認知行動療法研修事業の修了者もしくはスーパーバイザー、認知行動療法師の有資格者がいますか？		はい	いいえ
(7) 治療抵抗性うつ病・躁うつ病患者に心理社会的支援(リワークなど)を実施していますか？		はい	いいえ
(8) 日本うつ病学会の会員がいますか？		はい	いいえ
(9) 日本認知療法・認知行動療法学会もしくは日本認知・行動療法学会の会員がいますか？		はい	いいえ
(10) 県内地域で、治療の普及や人材育成に貢献できますか？		はい	いいえ
(11) その他(自由記載で特筆すべき点があれば記入下さい)	〔 〕		
3 児童・思春期精神疾患			
(1) 児童・思春期精神疾患の拠点医療機関となることを希望されますか？		はい	いいえ
「はい」の場合には以下の質問にお答え下さい。			
(2) 児童・思春期を専門とする医師(※)が診察を行っていますか？		はい	いいえ
<p>〔※児童・思春期を専門とする医師: 子どものころ専門医療機構の認定する「子どものころ専門医」、日本児童青年精神医学会の認定医、日本思春期青年期精神医学会による推薦医、ADHD適正流通管理システムの登録医のいずれかに該当する医師〕</p>			
(3) 厚生労働省「思春期精神保健研修」の受講者がいますか？		はい	いいえ
(4) 県内地域で、治療の普及や専門人材の育成に貢献できますか？		はい	いいえ
(5) その他(自由記載で特筆すべき点があれば記入下さい)	〔 〕		

広島県地域保健対策協議会 統合失調症ワーキンググループ

WG長 町野 彰彦 呉医療センター・中国がんセンター
委員 天野 純子 広島県医師会
佐伯真由美 広島県立総合精神保健福祉センター
佐藤 悟朗 草津病院
末丸 啓二 小泉病院
田村 達辞 広島県精神神経科診療所協会
長尾 正嗣 ほうゆう病院
西丸 幸治 広島県健康福祉局健康対策課
淵上 学 広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学
古庄 立弥 瀬野川病院
山口 博之 賀茂精神医療センター